

「鳳凰祭」お疲れさま！

～しっかり繋いだ西高文化～



第70回鳳凰祭お疲れ様でした。今年も入場、退場、昼食の摂り方からすべてにおいて制約がかかりました。本来なら学園祭は大きな声を出して若いエネルギーを発散することのできる行事なのですが、それができないもどかしさの中、皆さんは最大限の努力と工夫をして鳳凰祭を成功させました。特に舞台裏では、執行部や生徒会本部の皆さんの並々ならぬ尽力があり、そのおかげでなんとか実施することができたと聞いています。改めてどうもありがとう。

特に「3年次対抗」はどのクラスも現代の問題をズバリ捉えていて、明確な主題によって観る人に大きなインパクトを与えていました。脚本もしっかりしていて、台詞も構成もプロが書いたかのようなものでした。また大道具はコンパクトに収納できる工夫がされていたり、小道具も精巧な作りのものばかりだったりと、決して手を抜かない西高生の力があちらこちらに見られました。役者は声量の強弱や間などを上手に駆使して、劇中人物の微妙な心情を表現していました。照明、音響、大道具の移動などもスムーズに行われ、どの作品も総合芸術としてかなり高レベルだったと感心しています。

皆さんは1年次のとき先輩から受け継いだ『伝統』を、しっかり2年次生へ繋げました。年次外の多くの先生方からお褒めの言葉をたくさんいただきました。

そしていよいよ本格的な受験期へ突入します。まだまだ新型コロナウイルスの猛威は収まる気配がありません。感染防止対策を万全にしようえで、どんな状況でも乗り越えていくことのできる体制を作るしかありません。修学旅行に行き、鳳凰祭を終えた皆さんは、何をすればいいかわかっているはずですよ。

さあどんな時代であろうと、みんなで一緒に自分の目標を叶える努力をしていきましょう!!

(文責 奥田 久美子)

【7月の予定】

日	曜	主な行事	日	曜	主な行事
1	木	A 夏服期間(～8/31) 交通事故違反「0」3ヶ月運動(～9月末)	15	木	A 三者懇談 ※短縮45分授業
2	金	学びの基礎診断 (ベネッセ総合学カテスト 英数国)	16	金	A 三者懇談 ※短縮45分授業
3	土	ベネッセ総合学カテスト 地歴公理	17	土	第1回小論文講座
4	日		18	日	
5	月	B きずなの日 進路ガイダンス	19	月	B 三者懇談 ※短縮45分授業
6	火	B	20	火	B 三者懇談 ※短縮45分授業
7	水	B	21	水	休業前集会 報告会・生徒会役員認証式
8	木	B	22	木	海の日
9	金	B 立会演説会・大掃除 ※短縮50分授業	23	金	スポーツの日
10	土	教員採用試験会場準備	24	土	
11	日	教員採用試験会場	25	日	
12	月	A きずなの日 生徒会役員選挙	26	月	夏季休業開始 夏季課外Ⅰ(～7/30)
13	火	A 三者懇談(～7/20) ※短縮45分授業	27	火	
14	水	A 三者懇談 ※短縮45分授業	28	水	
			29	木	
			30	金	
			31	土	

【8月の予定】

2日(月) 夏季課外Ⅱ(8/6まで)
7日(土) 第2回小論文講座
13日(金)～15日(日) 学校閉庁日
17日(火) 夏季課外Ⅲ(8/19まで)
21日(土) 第2回全統記述模試
24日(火) 休業明け集会 LHR 大掃除
25日(水)～26日(木) 学力テスト



～鳳凰祭を終えて～

執行部長の3組望月瞳澄さんと3年次対抗部門執行部担当の5組菊池勢和さんに寄稿してもらいました。

「第70回鳳凰祭を開催します！」

この響き渡る掛け声を全校生徒に向けて発することを、僕はどれだけ心待ちにしていたらうか。西高生の青春の1ページに、今回の鳳凰祭を刻めることができ、本当に嬉しい。

「新西紀ウエストゲリオン～西高生よ神話に70～」のテーマのもと、県下No.1とも言われる鳳凰祭が行われた。今年も、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、一般公開の中止・規模の縮小などの制約がある中での実施だったが、無事2日間の日程を終えることが出来た。僕は鳳凰祭執行部長として、9月から毎日鳳凰祭のことを考えていたと思う。感染対策をしながら、いかに楽しめるかなど、とても悩み、苦心した。

ただ、諦めることが無かったのは、いつも励ましてくれた友達が存在があったからだ。執行部長という立場になり、改めて友達は偉大だと感じた。お疲れ様と声をかけてくれた人、協力してくれた人、ありがとう。とても力になった。

この鳳凰祭はみんながいたから成功できたと思う。この団結を受験でも忘れずにいきたいと思う。

(執行部長 望月瞳澄)

今年度の鳳凰祭3年次対抗部門を、皆さんはどのように振り返りますか。楽しむことができたでしょうか。私自身、始まった頃は不安しか感じていませんでした。実施計画を立てるにしても、参考にできる記憶は2年前のこと。それに加え、感染症対策も練り込まなければいけない。大変なスタートでした。活動期間中もなかなか上手くいかないことが多々あり、当日も計画を立てては変更の繰り返しでした。特に、前日リハーサルが夜遅くまでになってしまったことを皆さんに謝りたいです。すみませんでした。反省点が出ることは何事においても当たり前のこと。これを次年度にどう引き継ぐかが私の最後の仕事だと思っています。最後までやりきります。

当日、私は(恐らく)学年で唯一、皆さんの発表を全て客席から見ていました。厳しい制限が多々ありながらも、皆さんの発表は「そんなものは全く無意味」と感じられるほど素晴らしいかったです。減点の監視の仕事をしてしまいそうになるほどでした。感動しました。とても幸せな時間でした。

最後に、3年次対抗部門の部門長である西原小絵さん、そして奥田先生に感謝を伝えたいです。このお二方なしでは絶対に3年次対抗部門を成功させることはできませんでした。本当にありがとうございました。

(3年次対抗部門執行部担当 菊池勢和)

保護者のみなさまへ



修学旅行、鳳凰祭と無事実施することができましたのは、新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底など各家庭での御協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

鳳凰祭が終わり、ほとんどの生徒が部活動を引退しました。ようやく本格的な受験期に入りますが、このところの梅雨の鬱陶しい気候に体調を崩しがちな生徒が少しずつ出て参りました。生徒たちの心身の健康状態には十分留意しておりますが、何かお気づきの点がございましたら、どうぞ学校まで御連絡をお願いします。

そして今月13日から三者懇談が始まります。進路実現に向けて具体的なお話ができると思います。疑問に思っていることは、是非この機会にお話いただき、御家庭と学校とで連絡を密にしていきたいと考えています。